

## 尾張西支部

# 他地区から持ち込まれたらしき一般廃棄物の不法投棄を発見

尾張西支部（富田昭夫支部長）の不法投棄防止パトロールは支部内を5地区（津島・愛西・蟹江、あま・大治、弥富・飛島、清須・北名古屋、一宮、稲沢）に分けて各地区ごとに実施されました。

弥富・飛島地区の不法投棄防止パトロールは、6月26日（水）に実施。午前9時、飛島村役場駐車場に“適正処理推進”と書かれたベストを着用した支部会員9名が集合しました。副支部長 佐藤智和氏の挨拶、飛島村役場保健環境課の担当者から不法投棄現場の情報について報告を受け、巡回の車3台に分乗してパトロールに出発しました。

①・②飛島村新政成地区の現場は、畑に挟まれた細い道路脇にフェンスが立てられ、不法投棄禁止の看板及び監視カメラも設置されていました。そこに、廃タイヤ、本箱他木製家具、マットレス、ペットボトル、コンビニ弁当箱等を雑草で隠すように不法投棄されていました。

③同地区の現場は、堤防脇の道路沿いに高いフェンスが立ち並び、立入禁止の場所にペットボトル、



弥富・飛島地区のパトロールに参加された皆さん

段ボール、炊飯器等の家電、建築資材等が捨てられていました。昨年より量は減少してきましたが、一般家庭からの廃棄物と思われる物が、不法投棄されていました。

④同地区木場東緑地脇の現場は、布団、段ボール、園芸用資材の袋等が不法投棄されていました。

現在弥富市役所が工事のため十四山支所環境課に仮移転されており、担当者から市の北部では不法投棄現場は見かけないが、南部ではまだ見かけるとのことでした。

⑤弥富市富浜地区の現場は、広大な埋立地が広がる巨大な物流センターの近くの道路脇です。他市の指定ごみ袋に入った布団、発泡スチロールの箱、段ボール、他市の広報誌、チラシや雑誌等が捨てられていました。

⑥同地区の現場は、コンテナ基地へ向かう道路の脇道を進んだ空き地です。大量のペットボトル、雑誌、他市の住所が書かれた郵便物、段ボール、病院名が書かれた看板など一般廃棄物収集業者、解体業者が不法投棄したかのような廃棄物が捨てられていました。産業廃棄物の不法投棄は年々減少していますが、この地区は広大な埋立地が広がり空き地も多いです。大きな道路の脇にありますが、夜間は街路灯が全くないため、他の地区から容易に不法投棄されやすい環境にあるのではないかと、この事でした。

